



【ささき りつこ さん】 寿

●千歳市フラワーマスターの会会長。「ウエルカム花ロード」や「花と緑のフェスタ」などで装飾協力や植栽の指導、各種講習会を行い、花のまちづくりのリーダーとして活躍しています。（今年の「ウエルカム花ロード」は5月19日に開催します。現在参加者を募集しています。詳しくは11ページをご覧ください。）

みんなで進めたい、花と
緑いっぱいのもちづくり

本

格的な春の訪れとともに、暖かな日を浴びた花たちはつぎつぎに開花の時期を迎えます。

北海道にはたくさんのお花の名所があり、観光で訪れる方でもぎわいます。また、最近では家庭の庭を色とりどりの花で美しく飾る方も増えています。

フラワーマスターは、花の育成管理の技術などをもった方を北海道が認定する制度です。千歳に住む25人のフラワーマスターで組織する千歳市フラワーマスターの会は、新千歳空港から高速道路の千歳インターチェンジ付近まで花で飾って観光客を歓迎する「ウエルカム花ロード」などで花壇の装飾や植栽のアドバイスなどを行っています。会長を務める佐々木さんは、20年ほ

ど前にイギリスを訪れたときに見たイングリッシュガーデンに魅了され、花や庭づくりにかかわるようになりました。「目で気持ちが豊かになることに感動した」と花の魅力を話します。

今年にはフラワーマスターの会が「ウエルカム花ロード」の植栽デザインの一部と全体の取りまとめを担当しています。「花壇のデザインは、咲いていない花の色や形、高さ、開花期などの特徴を頭に浮かべながら考えます。思いどおりの花壇になったときは、安堵の気持ちがおみ上げです。花壇の前で立ち止まっていたり、草取りなどの管理をするには大変な手間がかかります。

花壇をつくったり、草取りなどの管理をするには大変な手間がかかります。

「千歳川沿いで、アジサイの花壇を年間100メートル増やす『あじさいロードプロジェクト』を進めています。花壇の植栽や管理に自衛隊や地域のボランティアの方など、たくさんの方に協力していただいています」と話します。

規模が大きくなった分、管理の方法を考えることがこれからの課題です。

「今後も花のまちづくりを進めていくために、たくさんの方が気軽に参加できる場をつくりたい」と佐々木さん。「花のまちづくりが大きな取り組みになれば、その結果、美しい花のまちとして千歳に立ち寄る方が増え、千歳のまち全体が盛り上がりそうです。千歳を花と緑がいっぱいのまちにしたいですね」と明るいまなざしで語ってくれました。

人 の い る 風 景

SCENERY OF PEOPLE



佐々木

RITSUKO
SASAKI

律子

さん